	<u> </u>	11万								+0.71		7	
		計名		川谷小:	垣江駅東部	土地区画整	理	事業会記	十繰	担当		3市政策部 - 45-14 軟 # ##	
	_	会計	_					•		担当		街地整備課	-
款	_	項	<u> </u>	出事業						担当	4倍 区	[画整理業務]	糸
8		4	2		4-4-m 1-4								
		総合	画信	分野	都市環境	-m							
		施急	传体系	基本施制									
Р				施策の内			1.1=		ńп	<u> </u>	2 114 177	工数四古光人	三 古米
				自該コ	□地区幽登理事業 ■業の施行を図る	費を確保するこ	21-				らエ地区I り出す。	画整理事業会	計へ争果
L				0,7,		, 0			200	HI C 11X	, ДД , о		
	Α							``					
Α	事		Н										
	∌							主たる内容					
Ν	業		的										
_	概												
/ \													
計	要			L									
画		位置	関連計	画都市	計画マスタープ ⁻	ラン							
_ V		づけ	根拠法	令 土地	区画整理法、西	三河都市計画事業	刈谷	小垣江駅東	部土地区區	画整理事	事業施行条	例	
V		7	対象者	当該	土地区画整理事業	業地区内地権者		事業期間	間 昭和	16 1 年	 F度 ~		
			施方法	口直					也				
)年度実績		30年度実績	, -,5,		年度実績			2年度計	面
		刈		工駅東部土		\垣江駅東部土地	区画	・刈谷小垣			画	乙十汉山	
				会計への絹		業会計への繰り	出し	整理事業					
	В			必要な		上地区画整理事業の	歩進え	 -図っ <i>t</i> -					
		F	成果	20.27.01	住員と味り出し、コ	L地区固定是事来的	JEYE G	. 四 フ/こ。					
	事	/-	~~										
	業			地権者。	との交渉難航による	5土地区画整理事業	の長期	化が懸念され	 れる。				
D	実	100	果題										
	績		,,,,,,										
	אכיוו								実績値	直		目標	標値
0				1	指標名称(単位)			29年度	30年		元年度	2年度	4年度
		活動		出し実績	(対予算比率%)			75. 3	10	0. 0	100. 0	_	100. 0
\wedge		指標成果		で画整理	事業の進捗(面的	内整備率%)		05.0		- -	00.0	07.0	00.0
実		指標						95. 9		5. 9	96. 2	97. 6	98. 0
~		Дh=	まとの	土地区	画整理事業は事	業ごとに条件が昇	異なる	ため、他市	との比較	まして	いない。		
施			pとの 交検証										
,,6			,										
\vee			単位:	千円	29年度	30年度		元年度	2年			元年度	,
					(決算)	(決算)	(決算)	(予算			事業費内 計 490,0	48,000 円
			事業費	1	172, 500	50, 439		490, 048		0			148,000 円
	С	財	特定]財源	0	0		0		0			,
	事				_								
	業	源	一形	设財源 	172, 500	50, 439		490, 048		0			
		ಾ	員人件	費②	93	93		92		0			
	コス	総事	業費((1)+(2)	172, 593	50, 532		490, 140		0			
	ヘ ト	7=	全	体事業費	 (単位:千円)	0		元年度特定	財源名称				
	'	建設事業	ī	年度まで	の累積事業費	0							
		業	3	3年度以降	の事業費見込	0							

יעד	רט ע	.十夕(1.	14儿牛皮袢侧人对合印事物争来就	+im ノ i	-		(塚北) と)
		計名 法会計	刈谷小垣江駅東部土地区	画整理	事業会計繰	担当部担当課	都市政策部 市街地整備課
款		古口				担当係	区画整理業務係
8		4 2	出事業			担当床	
H		4 2	タ切上からの部伍			製造の理	ф
			各視点からの評価	ı		評価の理	
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	土地区画整理事業行うことは事業を円		:一般会計から繰り出しを えで必要である。
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	土地区画整理事業 行っている。	の収支に合わ	せて効率的に繰り出しを
С	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか・総合計画との整合性 など	高い	当該土地区画整理 会計から繰り出しを		による事業であり、一般 当性がある。
K へ 評	評価	施策への 貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	健全な市街地を造 ら繰り出しを行うこ		画整理事業に一般会計か)貢献度が高い。
			今後の方向性■拡充	□現状維持	・ 口改善・効率化	□縮小 □終	期設定 □休止・廃止
価		引き続	き、土地区画整理事業会計の収支バラ	ンスを考慮		から繰り出し	を行っていく。
\vee							

	<u> </u>									+= \	∠ †	T = T = 500 ± 0	
		計名	— >	川谷野	田北部土地	区画整理事	業:	会計繰出	出事	担当		市政策部	
	_	会計							•	担当		街地整備課	
款	_			業						担当		.画整理業務(糸
8		4	2		40 4 m 14								
		総合	画信	分野	都市環境	-m l +							
		施負	体系	基本施									
Р				施策の内			L1-			ヘニム	5 - 1 M IS 1	n 数 田 市 类 企	サマ中来
					□地区画登理事業 ■業の施行を図る	費を確保するこ	C I-				り出す。 り出す。	画整理事業会	計へ争未
L				0.7						HI C IN	,,,,		
	Α							主					
Α	事							た					
								主たる内容					
Ν	業		的					容					
\wedge	概												
	要												
計	女			_ t= t									
画		位置	関連計	画 都市	計画マスタープラ	ラン 							
V		t t	根拠法	令 土地	区画整理法、西3	三河都市計画事業	刈谷	野田北部土地	也区画整理	理事業別	拖行条例		
		7	可象者	当該	土地区画整理事業	業地区内地権者		事業期間	平月	或12 ^全	F度 ~		
		実	施方法	口直	営 口委託 口打	旨定管理 口補助	・助原	或 ■その作	也				
				9年度実績		30年度実績			年度実績			2年度計	_
				北部土地区		予田北部土地区画 10 10 11 11 11 11 11 11		・刈谷野田				野田北部土地	
		争。	ま会計/	への繰り出	はし 事業会	除計への繰り出し		事業会計	への繰り	出し	事業 	会計への繰り	り出し
	В			必要な組	 経費を繰り出し、コ	上地区画整理事業の	推進を	図った。					
	事	Þ.	以果										
	業												
				地権者。	との交渉難航による	6土地区画整理事業	の長期	化が懸念され	いる。				
D	実	=	果題										
	績												
0				1	指標名称 (単位)			0.0/5	実績値		一左曲	目標	
		活動	繰し)出厂実績	(対予算比率%)			29年度	30年		元年度	2年度	4年度
\wedge		指標		/田 し天順	(水) 井心十/0/			100. 0	10	0.0	100. 0	100. 0	100. 0
		成果	土地	也区画整理	事業の進捗(面的	内整備率%)		95. 1	9	5. 1	95. 1	95. 3	100. 0
実		指標	₹	土地区	画整理事業は事	業ごとに条件が昇	異なる	L ため、他市	<u>」</u> との比較	はして	 いない。		
			5との								0		
施		比較	校検証										
			<u></u> ~ .	T CT	29年度	30年度	Ţ	元年度	2年	度		 元年度	
V			単位:	十円	(決算)	(決算)	(決算)	(予算	(≨		事業費内訴	
			事業費	t 1	9, 471	5, 510		10, 547		5, 000		計 10,5	47,000 円 47,000 円
	С	5.	#土=	 È財源	0	0		0		0	採口金	10, 5	41,000 円
	事	財			-			-					
		源	一 魚	段財源	9, 471	5, 510		10, 547	5	5, 000			
	業	ಾಾ	員人件	費 ②	93	93		92		91			
		総事	業費((1)+(2)	9, 564	5, 603		10, 639		5, 091			
	スト		全	体事業費	L (単位:千円)	0			財源名称	ī			
	1,	建設事業	<u></u>	元年度まで	 の累積事業費	0							
		争業			の事業費見込	0							

		十名	F	刈谷野田北部土地区[画整理事業	会計繰出事	担当部担当課	都市政策部市街地整備課
款		項	目	भीर			担当係	区画整理業務係
8	_	4	2	業				
				各視点からの評価			評価の理	由
С		必	要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である なと	高い	土地区画整理事業の 行うことは事業を円		一般会計から繰り出しを えで必要である。
Н		効	率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	土地区画整理事業のつている。	D収支に合わ [.]	せて効率的に繰り出しを行
E C	日内部	妥	当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか・総合計画との整合性 など	高い	当該土地区画整理事会計から繰り出しを		による事業であり、一般 4当性がある。
K へ 評	評価		う 献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 なと	高い	健全な市街地を造店 ら繰り出しを行うこ		画整理事業に一般会計か)貢献度が高い。
価				今後の方向性	拡充 ■現状維持	・ □改善・効率化 □	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止
\ \			引き糸	売き、土地区画整理事業会計の収 <u>]</u>	支バランスを考慮	賞しながら、一般会計 だ	から繰り出し	を行っていく。

יויירו		十尺	/ IJ1		ניא לשודם	コット	がかず未可巡し	<u> </u>					(18)	11/1/
	会	計名									担当	省部 都	市政策部	
	一般	会計	╛╸	有结合物	枚借調え	本堆	進事業				担当	部 市	街地整備課	
款		項 E	∃ '	و الله الله الله	正阴叩!	旦 7 世	. 连 尹 木				担当	4係 区	画整理工務的	系
8		4 1	1									拠	l点整備係	
		巛	≘±iæi	分野	都市環	環境								
		総合		基本施策	市街地	し・住								
		施策	14 糸	施策の内	容市街地	也の整	備・改善							
P L	А			針に基づ 検討を行	†画マスタ− ゔき、都市碁 テうことで、	ープラ 基盤等 市街	ンの市街地整備の整備に向けた の整備に向けた 地開発の事業化 くりを推進する。	調査・ を促		・土 ・事 〇再開	地区画 業化に 発に関	整理事業 向けた調 する調査	おける調査等 等の推進検討 査、資料作成 ・検討の実施	t Ž
A N <	事 業 概	É é	_						主たる内容				の推進検討 査、資料作成	5
ā1	要	位	 連計	画 都市	<u></u> 計画マスタ	ープラ	 ラン、立地適正化	:計画						
画		位置づけ	艮拠法	令 土地	区画整理法	、都市		市優」	 良建築物等		ーーー 朝助金3	 と付要綱		
V			象者		 権利者、事	業者			事業期間	平月	大3 O 年	 F度 ~	 令和 4 年度	
			施方法	■直 [·]				 り・助原		<u></u> 也				
				年度実績			30年度実績			年度実績			2年度計	面
		・小垣	市街 ^地	也調査推進比部地区			[町北部地区 京形成支援		• 小垣江町	北部地区 成等支援 補助制度		合	江町北部地區 意形成等支持 発に関するる	<u>ズ</u> 爰
	B 事 業	成	果	・再開発の	の補助制度に	関し、	ミちづくり団体等の 関連部署と検討会	を開催	€し、制度の植	検討を行う	ことがで	できた 。		
D	来実績	課	題				目織化に向けて、代 ⁻る必要がある。	表候補	諸者の選定や第	边強会の開	催などの	の手法を検討	討するとともし	こ、市街地整
	1131				指標名称(単位)				実績値	直		目標	票値
0		\T ==	- A+34				(E)		29年度	30年	度	元年度	2年度	4年度
\wedge		活動 指標		会等会議.	及び打合せ	回数	(回)		_		2	0	2	2
		活動 指標		部署との	検討会回数	(回)			_		_	3	_	_
実施施		他市比較	との	地域の		-	意向が異なるため							
\vee		È	単位:	千円	29年		30年度 (決算)		元年度 決算)	2年/ (予算			元年度 事業費内部	₹
		Ę	事業費	1		0	0		6, 725		306	全 委託料	計 6,7	725, 192 円 725, 192 円
	С	財	特定	≧財源		0	0		0		0	女品材	0, 1	25, 192
	事	源	一般	以財源		0	0		6, 725	3	306			
	業「	職員	員人件	費 ②		0	93		4, 867	1	, 984			
	コス	総事業	業費(1+2)		0	93		11, 592		5, 290			
	\ \		全任	本事業費	(単位:千円	9)	0		元年度特定	財源名称				
		建設事業	元	年度まで	の累積事業	費	0							
		業	3	年度以降	の事業費見	込	0							

Т	コク		. 十及(T	5和元年度評価)刈谷巾事務事業計	チイ細ンー			(様式2)
		会	計名				担当部	都市政策部
Г	-	一般	会計	市街地整備調査推進事業			担当課	市街地整備課
	款	J	項 目	川街地歪佣納且推進事業			担当係	区画整理工務係
	8		4 1					拠点整備係
				各視点からの評価			評価の理	±
	C		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	もに人口世代間バラ	ンスを維持し	せ代の転出抑制を図るとと していく必要があるため、 はわれる良好な住環境を確
ŀ	7		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通			ながら、事業化に向けた の、調査や資料作成などを
	~	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	計画の策定などには	、専門知識を には、地元ま	利者との合意形成や事業 多く必要とするため、早 ちづくり団体等の活動に ある。
,		評価	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	の、地元まちづくり	団体等の活動であるため、	間を要す恐れがあるもの 加は、市街地整備の事業化 団体等の活動を支援する へ。
				今後の方向性□拡充	■現状維持	・ □改善・効率化 □	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止
	西 /			也権者との合意形成については、本市の 担う主要組織である地元まちづくり団体 €行う。				

13 1		. 1/2	× \ 13		0 I IWU / /	, 2 🗀 . 🏱 -	学奶学术!! 個力						(15)	
	会	計名									担当	当部 都	市政策部	
	一般	会計	 	ᆀᄽᆂ	ED 44: 3	ᆫᇪᆠᅪ	中国农中省	Ł			担当	当課市	街地整備課	
款		項	目	刈台巾:	叭削几	口囯地	再開発事業	₹			担当	当係 再	開発係	
8	_	4	8											
Ĭ	_			分野	#17	市環境								
		総記	合計画	基本施		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>								
		施領	策体系											
Р				施策の内			備・改善 都市基盤の再生	_ = 47		□○田郎	3 2	する計画	生の生亡	
							都巾基盤の再生 した快適な都市					9の計画= 組合への		
L				を創出す	けること	で、まち	なか居住の積極	的な		013101	176 IVII	, и ш ш	911%	
	Α			促進と			高い拠点形成を							
^				す。					<u>‡</u>					
\cap	事								主たる内容					
N I	業		ήh						内容					
1 /			的											
\land	概													
計	要													
		At T	関連記	+面	計画ファ		 ラン、立地適正化	- 計画	山心市结果	 #またづ	/ 山甘-	*************************************		
画		位置づけ												
\vee		ゖ	根拠法	去令 都市	再開発法	5、都市記	計画法、刈谷市市	街地	耳開発準備網	组合助成:	金交付	要綱		
•			対象者	市民	(刈谷市	¬駅前地區	록)		事業期間	平 平	成304	 年度 ~		
			■					h. Atto	t 0201	th				
		Ð				zāī ⊔1) · D/J/:			-		I	_
			2	9年度実績			30年度実績	T-0		年度実績		- to to	2年度計	
						・巾街地 策定	也総合再生基本計	画の	・再開発に 検討	関する基	本計画		計画決定素第 地再開発準備	
							也再開発準備組合	への	・駅前広場	• 道路概	略設計			制心ロ・ハリ
						助成			検討			• 市街	地再開発準備	構組合の検
					-		b再開発準備組合	の検	・市街地再	開発準備	組合へ		への参加	h =**
							への参加 機関等との協議		助成 • 市街地再	即 杂淮冼	细合の		機関等との協	協議
						一天	対するの励哉		計会への		祖口の	154		
									• 関係機関		議			
	В				-88-1-7-3	<u> </u>	* a.W=1+ ** 4 + 7 =	1 18-	L					
							等の検討を進めるこ 対する助成を行い、			≧活動を支	揺する。	ことができた	t	
	事	J		1,0 2,0	101170-1-1	40.4 <u>m</u> H 2	17 023170 2 11 1	-J- >/(10	,, -, ,, ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-71-33 - 2			-0	
	業				<i></i>	- 1				L 64 L -L 1-		4 N T 18 L		
							D合意形成を図るた &備を検討している							
	実	ā	課題	是叫()	N 0.112-30.	2 C 07 H 1		,,_,,	11773 - 1747 - 1	الالخاب ح	ונונו ניבו אווי	HX C 11 7 XD-3	× 13 05 0 0	
	績													
				:	岩 煙名称	、(単位)				実績	直		目標	標値
0									29年度	30年	度	元年度	2年度	4年度
^		活動		街地再開発	準備組合	の検討会	会への参加回数	(回)	_		3	3	3	3
\land		指標成果		ション トス	古红地正	四级淮东	#組合への加入率	7 (04)						
		指標		付付による	山田地色	刑无华》	用租口入り加入年	<u>• (%) </u>		. 9	90. 4	90. 4	93. 6	100. 0
実		101	31	愛知県	内におり	ナる市街	地再開発事業の実	更施中:	地区数 (·	_ 令和2年4	月1日期			
			もとの		屋市:2	地区 豊	是橋市:1地区 君	多日井	市:1地区					
施		比	咬検証											
-					20	年度	30年度	=		2年	ΙĖ		 元年度	
\vee			単位	:千円		(年及 !算)	(決算)		決算)	(予算			事業費内訴)
			古光	# A								슫		77, 000 円
			争耒負	費 ①		0	9, 344		17, 477	,	9, 513	委託料	15, 4	77,000 円
	С	財	特	定財源		0	2, 266		3, 389		700		補助及び。。	
	事	 					·					交付金	2, 0	00,000 円
		源	_	般財源		0	7, 078		14, 088	;	8, 813			
	業	誦	銀昌 人 個	 牛費 ②		0	5, 169		6, 700		5, 036			
	\Box					_	·							
	ス	総事	業費	(1+2)		0	14, 513		24, 177	1.	4, 549			
			1	 È体事業費	· (単位:	壬円)	0		 元年度特定	財源名称	Г			
	7	建		一件尹未見	·+I□·	1137	J							
		建設事業		元年度まで	の累積事	業費	0	社会 	資本整備総	合父付金	(国)			
		業		3年度以降	の車業更	目に	0							
				0 十反以降	∪尹未見	元心	l U							

T)	⊼U ∠	2年度(1	6札元年度評価)刈谷市事務事業部	半価シー	<u> </u>		(様式2)
	会	計名				担当部	都市政策部
	一般	会計	刈谷市駅前市街地再開発	車 坐		担当課	市街地整備課
意	7	項目	刈谷川枞削川街地舟開光 :	尹禾		担当係	再開発係
8	3	4 8					
			各視点からの評価			評価の理	! 由
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	普通	道駅周辺などの既成	市街地におけ	とな都市であるために、鉄 ける拠点機能の強化や地域 ごを推進する必要がある。
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通			を見交換しながら、効率的 けを進めることができた。
C	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	高い		造を実現する	・画に位置付けられた本市 ために、市が主体的に実
K	評価	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	の、本市の目指すべ 業である。準備組合	き都市構造を の活動は、再	間を要す恐れがあるもの 宇実現するために必要な事 開発事業の推進に必要不 活動への支援を図ってい
			今後の方向性 ■拡充	・ □改善・効率化 □	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止	
価		準備約	ll合と連携を図りながら関係権利者との1	目指すとともに、道路	路・駅前広場	の再整備に伴う関係機関	
\vee		協議を乳	ミ施し、本市の目指すべき都市構造の実 弱	現に取り糺	目んでいく。		

1- 1		. 1/2	` \ 3		7.30.164		' '					(15)	
		計名										『市政策部	
	一般	会計	1	混座Δ□	B地区整備	·車業						街地整備課	
款		項	<u> </u>	以上八	口地产走洲	于木				担	当係 再	開発係	
8		4	8										
		総合	合計画	分野	都市環境								
			策体系	基本施策	市街地・住	環境							
Р		עשנו	ペーグバ	施策の内									
•						わしい土地の高						良建築物等へ	
						活力を活用した。 地利用を推進す			〇定期 設整		使による.	民間活力を活	i用した施
L	٨			を強いも	サエこ 胚刀のるエ	・地利用を推進す	୰ ∘		政策	E NHI			
	Α							主					
А	事							主たる内容					
N.I	業		6 5					内					
1 1			的										
\land	概												
計	要												
		位	関連計	画 都市	 計画マスタープ ⁻	ラン、立地適正化	:計画						
画		賞上	根拠法			整備事業補助金交		 [2]					
\vee							C I J S M		38 =	-	<u> </u>	^ 1 + +	
		,	対象者	事業	者 —————			事業期間	1 平月	灭264	丰度 ~	令和元年度	
		実	爬方法	■直	営 口委託 口打	旨定管理 ■補助	か・助原	戊 口その	也				
				9年度実績		30年度実績			年度実績			2年度計	画
				土地整備		計、建築工事(・調査設計			同		
			爭(共Ⅰ 補助	司施設等)	に対す 施設等	(アイス)		施設等)	に対する	補助			
		٠	I.W +91										
													
	В			適正に补	 浦助金を交付し、顔	建築工事を順調に進	 掛させ	、事業を完	了すること	ができ	<u> </u>		
	事	J.	或果										
	業												
D	実	Ī	課題										
	績												
	1131			+					実績	直		目標	標値
0				t	省标石州 (早世)			29年度	30年	度	元年度	2年度	4年度
		成月		美進捗率 (%)			47. 1	7	0. 1	100. 0	_	
\wedge		指標成果		トローナル	る低未利用地の割				-				
_		指標		B区1-の1)	る私不利用地の言	ij 🗀 (90)		44. () 4	4. 0	2. 0	_	_
実						活用事業の実績均					月1日現在)	
+ <i>t</i> -			市との	岡崎	市:3地区 安城	成市:2地区 西原	€市:1	地区 高沙	兵市:1地	区			
施		ᄔ	咬検証										
\ /			単位:		29年度	30年度	\bar{z}	元年度	2年	度		元年度	
\vee			+117 .	112	(決算)	(決算)	()	決算)	(予算	〕		事業費内訴	
			事業費	1 1	116, 417	191, 200		240, 000		0		<u>計 240,0</u> 補助及び	000,000 円
	С		#共后	 2財源	89, 218	155, 418		192, 052		0	交付金		000,000 円
	事	財			09, 210	133, 410		192, 002					
		源	一 角	段財源	27, 199	35, 782		47, 948		0			
	業	暗	 战局人件	費 ②	2, 869	2, 855		2, 850		0			
	\Box				·	·							
	ス	総事	業費((1+2)	119, 286	194, 055		242, 850		0			
			全	体事業費	(単位:千円)	0		元年度特定	財源名称	<u>ī</u>			
	7	建設事業						資本整備総					
		事	7	は年度まで	の累積事業費	0	、市	街地再開発	事業等補	助金			
		業	3	3年度以降	の事業費見込	0	(県)	、土地建物	貸付収入				

T	Ī₩	2	年度(6和元年度評価) 刈谷巾事務事業計	半価シー	^		(様式2)
	ź	会計	†名				担当部	都市政策部
	_	般	会計	銀座AB地区整備事業			担当課	市街地整備課
1	款	IJ	頁目	蚁注AD地区正開事未			担当係	再開発係
L	8	4	4 8					
				各視点からの評価			評価の理	曲
C			必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い			か市街地活性化に寄与する 市民生活上においても必
F	ł		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	高い	民間活力を活用す が目指すべきまちづ		り効果的かつ効率的に市 ることができる。
C	; [D 为 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通		スタープラン	けして補助することで、総 いに位置付けられた本市の ことができる。
K /	\ fi	评	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	民間活力を活用し の推進を図ることは		を備・改善、まちなか居住 前献度が高い。
				今後の方向性□拡充	□現状維持	・ □改善・効率化 〔	□縮小 □終	期設定 ■休止・廃止
位 >				舌力を活用した都市基盤の再生及び魅力 欠の都市機能が集積するまちづくりを実:				

1- 1			~ \ -	31070 17	2011007	, 5 🗀 . [- 5		- '					- 1 - 1 1 -	
		計名											『市政策部	
	一般	会計	†	加公則	北地區	マ慗借	重 業				担	当課 市	适地整備課	
款		項		小山.口.响	(4676)	△正 胂	尹木				担	当係	開発係	
8		4	8											
		4/2-	ᄼᄘᄺ	. 分野	都 都	市環境								
			合計画	1 其本語	市 市	街地・住								
		他的	策体系	施策の	内容 住	環境の充	 実							
P				市有設等が	地を活用	し、商業 施設を整	施設や住宅、公備することによ	り、		〇定期	借地制		良建築物等へ 民間活力を活	
A N	A 事業概		自的		1、まちな		図り、活気と賑推進、定住人口 推進、定住人口		主たる内容	設整	: 備			
01	要	位	関連	計画 都	お計画マラ	フタープ=	ラン、立地適正化							
画		位置づけ -												
\vee		け	根拠》	太行 刈	合巾懓艮類	王梁彻寺 生	隆備事業補助金 交	《付安和	쒜					
			対象を	事:	業者				事業期間	平月 平月	丸28 ∶	年度 ~	令和3年度	
		3	東施方	法■	直営 □ ₹	季託 □キ		り・助原	· 成 □その1	也,				
		_		9年度実			30年度実績			年度実績			2年度計	面
		- 調		十、土地整		調查部	計、土地整備、	建築	・調査設計			同・調査	設計、建築コ	
			補助	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	MU (- > .)	工事	(共同施設)に対		施設)に)に対する神	
						補助	賃貸借契約の締結							
						工地員	1月1日天初の神和							
	D			***	-1+n-0-1	<u> </u>		- AUG -L \44	****	1 18-1-1				
	В		_ _	適止	こ補助金を:	父付し、追	星滞なく計画的に事	美を進	重捗させるこ	とかできた	0			
	事	,	成果											
	業													
D	実		=m 85											
		i	課題											
	績									中生	古		目標	話
0					指標名称	小(単位)			29年度	実績(元年度	2年度	<u>₹</u> 但 4年度
		成	1 事	業進捗率	(%)									4十尺
\wedge		指		/k/E/J9 -	(,0)				9.3	5 2	3. 8	48. 4	94.0	_
実		成 指 指		地区にお					49. 3		9. 3	49. 3	49. 3	
		Hh 7	市との				活用事業の実績均 は市:2地区 西原					月1日現在)	
施			較検証		~~JIJ . UJU	JE	VIII . C PES ES ES ES ES	5 II .	1200年 同月	、114 . 12世				
							007	_	— 		o'r			
\vee			単位	: 千円		9年度	30年度 (決算)		元年度 (決算)	2年 (予算			元年度)
			— AU4	**	()							4	事業費内訴 計 208,5	61,700 円
			事業:	費 ①		79, 600	123, 200		208, 562	43	7, 200	負担金、	補助及び	
	С	財	特	定財源		59, 700	92, 400		156, 300	32	7, 900	交付金	208, 4 #填及び賠	.00,000 円
	事	源	_	·般財源		19, 900	30, 800		52, 262	109	9, 300	」簡良、N 償金 		61,700 円
	業コ	耶	競員人·	件費 ②		4, 653	2, 855		2, 850	(3, 801			
	コス	総事	業費	(1+2)		84, 253	126, 055		211, 412	44	1, 001			
	7	7,≢		全体事業費	说(単位:	千円)	0		元年度特定	財源名称	7			
		建設事業		元年度ま	での累積	事業費	0		資本整備総 适街地再開発					
		業		3年度以	降の事業費	貴見込	0	(県)						

, - 1		. 1/2	口机儿牛皮袢侧人对台叫事務争耒ā				(
		計名				担当部	都市政策部
	_	会計	刈谷駅北地区整備事業			担当課	市街地整備課
款		項目	州 1 州 10 亿 巴 正 洲 于 不			担当係	再開発係
8		4 8					
			各視点からの評価			評価の理	由
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い			>市街地活性化に寄与する 市民生活上においても必
Η		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	高い	民間活力を活用す が目指すべきまちづ		: り効果的かつ効率的に市 ⁻ ることができる。
C	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか・総合計画との整合性 など	普通		スタープラン	けして補助することで、総 いに位置付けられた本市の ことができる。
K < 評	評価	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	民間活力を活用し の推進を図ることは		を備・改善、まちなか居住 『献度が高い。
			今後の方向性 口拡充	■現状維持	・ 口改善・効率化	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止
価 >			が目指す将来のまちづくりの方向性を見 力を活用した都市基盤の再生及び魅力あ			い土地の有効	・高度利用を図るため、

15 1			. (13 1	1070年及計画/79日や学数学末計画/								(13.			
会計名										担当	部都	『市政策部			
	一般	会計	^{会計} 刈谷駅周辺整備事業							担当	課市	街地整備課			
款		項		り分駅)	司卫全佣争	未				担当	係 拠	 L点整備係			
8	_		8												
				分野	都市環境										
		総合	画信	基本施定											
		施第	体系	施策の内											
Р						Ⅲ・収音 Ěもが集い、回遊	1 25		○古往		百仕甘木:	計画の等字			
					派とにぎわいのあ			│ ○市街地総合再生基本計画の策定 │ ○市街地再開発等の事業化の推進							
L				するため	するための調査・検討を行うことで、市街地				Oにぎわいづくりに関連する施設整備						
	Α			再開発等	再開発等の事業化を促進する。										
^			Н												
	事														
Ν	業		的							,					
	概	69				主たる内容									
/ \															
計	要														
		位	関連計	画 都市	都市計画マスタープラン、立地適正化計画、中心市街地まちづくり基本計画										
画		賞 —													
\vee		け	根拠法	市 市 市	再開発法 ————————	**									
		対象者		関係	関係権利者、事業者				9 令和	和元年度	₹ ~	令和9年度			
		実施方法		■直	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他										
			20)年度実績											
				一人人员		・基礎調査等の検討			・基本計画の作成						
							 関係機関 				・関係機関との協議・調整				
											▶施設	・施設設備等設計の検討			
	В			市街地區	再開発等の事業化し	こ必要となる基本計	画の策	定に向けて、	基礎調査	及び課題	の整理を	実施することだ	ができた。		
	事	成果													
	業														
	未			事業化の	D促進に向けた関係権利者等の機運の醸成が課題である。										
D	実	15	課題												
	績														
	1151			+				実績値			目標値				
0				t	指標名称(単位)				30年	度	元年度	2年度	4年度		
		活動		機関との	協議・調整回数(回)						4	4	4		
\land		指標													
		活動 指標													
実		扫衍	₹	愛知県	内における市街	地再開発事業等0	の実施	 中地区数([·]	<u> </u> 会和2年	 4月1F	1現在)				
		他市	ことの			是橋市:1地区 看						: 1地区			
施		比較	検証												
-					20年度	度 30年度		元年度	2年	2年度		二左府			
\vee			単位:	千円	29年度 (決算)	(決算)		で	マ 年 (予算			元年度 事業費内訴	?		
			+ ₩#								A		60,000 円		
		事業費		. ①	0	0		10, 560		16, 012		委託料 10,560,000 円			
	С	財特定		2財源	0	0		0	0 3, 640						
	事	M		ル月+ン/万	0	0		10 560		270	-				
	業	源		段財源	U	U	10, 560		12, 372						
		職員人件費		費 ②	0	0	5, 545		4	4, 165	165				
		総事業費((A+@)	0		16, 105		20, 177						
	ス	心事	未貝(<u> </u>	0		10, 100	20	20, 177					
	7	Z ∄	全	体事業費	(単位:千円)	0		元年度特定財源		ī					
	·	建設事業	=	年度まで	 の累積事業費	0									
		事業	-												
		未	3	3年度以降	の事業費見込	0									